

国営緊急農地再編整備事業

「南周防地区」

ほ場整備で、地域を変える、地域が変わる



暗渠排水整備後の農地での大豆収穫状況 伊陸（柳井市）

令和4年12月

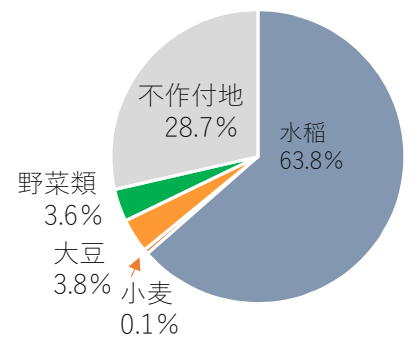
農林水産省

中国四国農政局

南周防農地整備事業所

1. 地域の概要

- 本地区は、山口県の東部に位置しており、瀬戸内海を南に望む温暖な地域です。
- 内陸の中山間地域や田布施川沿いの平坦部、室津半島など多様な環境のなかで、瀬戸内海に面した棚田や、農地周辺の里山など変化に富んだ景観が特徴です。
- 地域の農業は、水稻が中心となっています。



事業実施前の水田利用率

2. 事業の必要性

- 本地区のほ場は、一部区画の条件が整っているものもありますが、多くは狭小、不整形で農作業に大変な労力がかかっています。
- 地区内の一部のため池では、老朽化により漏水などが発生し、農業用水が十分利用できない状態となっています。
- また農業就業者の高齢化も進んでいます。
- このような状況から、地区内のほ場では2割以上が耕作放棄地となっており、今後も耕作放棄地が増えていくおそれがあります。



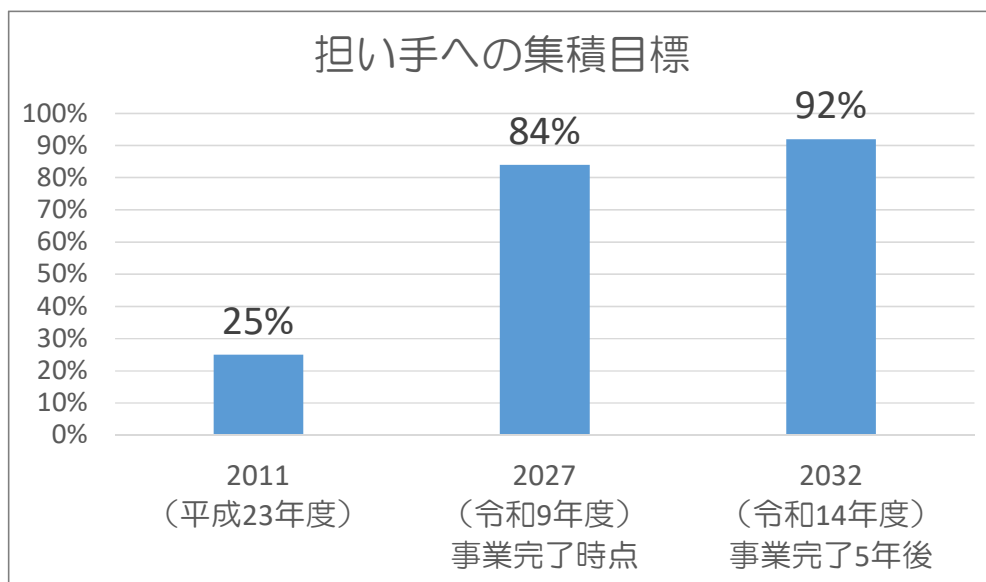
狭小なほ場



整備前の耕作放棄地

3. 事業の目的

- 区画整理（ほ場整備）、ため池整備、暗渠排水を一体的に施工することで、生産性・収益性の向上を図り、担い手への農地の利用集積を進めることを目的としています。



4. 事業の概要

■関係市町

山口県光市、柳井市、熊毛郡田布施町

■総事業費

260.07億円（平成29年度単価）

■受益面積

工種	受益面積	地区数等
区画整理 (ほ場整備)	390ha	30換地区
ため池整備	36ha	6箇所
暗渠排水 (単独)	182ha	8地区
計	577ha	—

区画整理とため池整備の受益面積に重複を含む
受益面積は、法面等を含む

■負担割合

(%)

工種	国	山口県	市町	受益者 (農家)
区画整理 (ほ場整備)	66.66	25.20	5.00	3.14
ため池整備	66.66	25.20	6.13	2.00
暗渠排水 (単独)	66.66	25.20	5.00	3.14

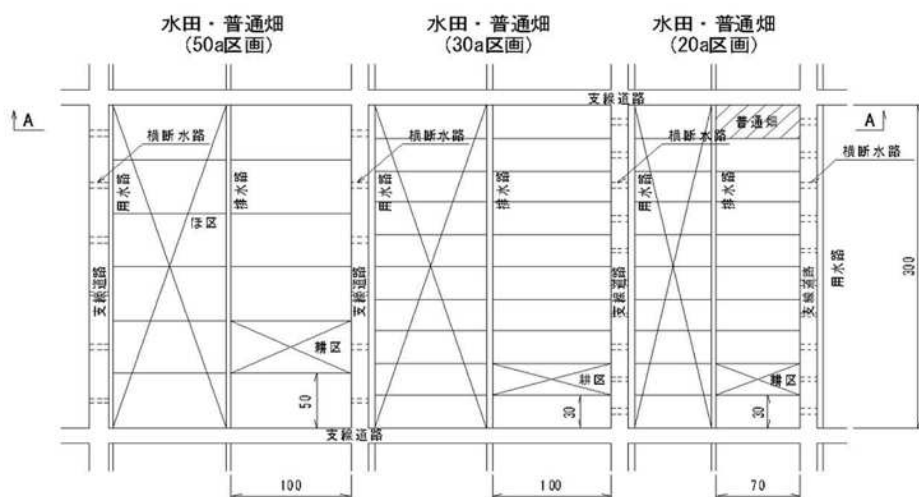
■事業期間

平成23年度～令和9年度（予定）

5. 工事の内容

■区画整理

区画整理によるほ場の大区画化により、担い手への農地利用集積の促進と農作業の効率化を図ります。



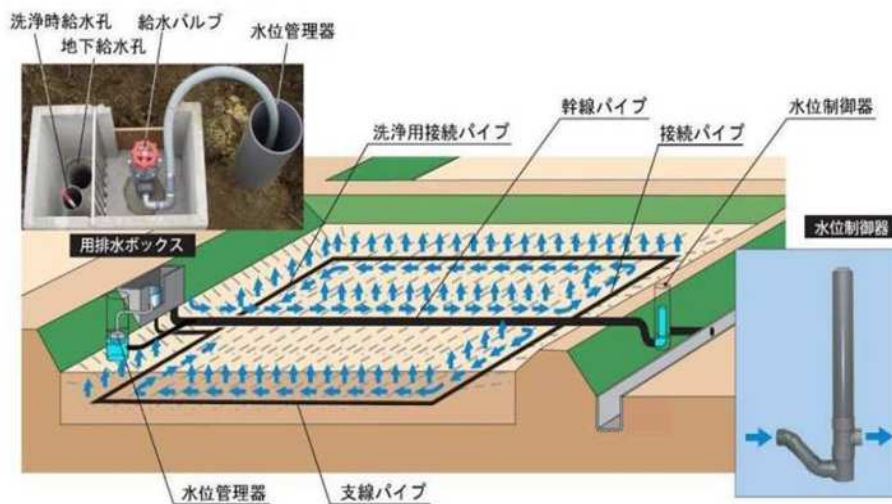
区画の標準図



大原換地区（柳井市）

■地下水位制御システム（FOEAS）

区画整理と併せて地下水位制御システム（FOEAS）を導入し、水田を汎用化することにより、小麦、大豆、野菜等の多様な作物の導入が可能になります。



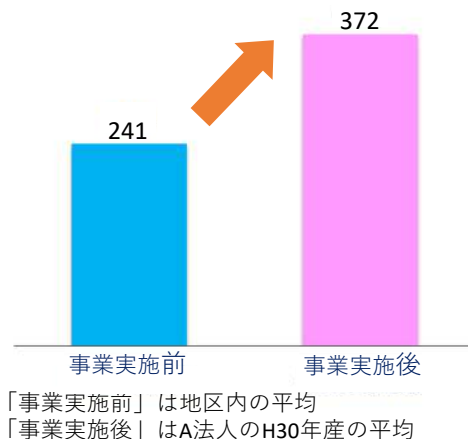
暗渠排水工事の実施状況

6. 事業の効果

- FOEASによる地下かんがい機能を有する暗渠排水を整備することで、畑作時における地下かん水が可能となっています。



小麦の反収 (kg/10a) の比較)



※（フォアスの効果だけでなく、営農技術の向上などの複合的な要因により、成果が出ています）

- 整備が進んだ団地では、集落営農法人などの担い手が農地を借り受け、水田で小麦や大豆、たまねぎなどの畑作に取り組み、新たな営農が開始されています。



たまねぎ収穫状況（日積（柳井市））



小麦収穫状況（木地換地区（田布施町））

- 将来は、アスパラガス、いちじく、りんどう（花）などの収益性の高い作物の導入拡大を計画しています（写真は、他地区における高収益作物の事例）



アスパラガス栽培状況（柳井市）



いちじく、いちじくわいん（田布施町）

7. 未来の担い手作りのサポート

■区画整理（ハード対策）によるほ場の大区画化等により、担い手への農地利用集積の促進と農作業の効率化を図るとともに、農地整備事業に対する理解の醸成および将来の担い手を育成するためのソフト対策にも力を入れています。

■後継者育成のためのシンポジウム等の共催

田布施農工高等学校との共同企画や農業教育、行政や営農支援団体等の関係者協力によるシンポジウムの開催を通じて、農業後継者の育成・確保についてディスカッションを行い、将来地域のリーダーとして活躍する人材の発掘・育成をサポートしています。



シンポジウムの開催



就農者と高校生とのディスカッション

■出前授業・現地見学会の実施

ほ場整備への理解を深めてもらうことを目的に、受益地内の小学校における出前授業や田布施農工高等学校の生徒を対象に現場見学会を実施しています。



小学校での授業



田布施農工高等学校の生徒に対する現地見学会

8. 地域の連携

■ 農地保全の活動

ほ場整備をきっかけに、地域で農地を保全する活動組織が設立され、多面的機能支払交付金や中山間直接支払交付金を活用して、農地の草刈りや水路・農道の維持管理、景観保全や生態系維持のための活動など、農業施設や地域環境を保全するための取り組みが広がっています。



農道の維持・管理



地域住民参加による、地域景観の保全

■ 集落営農法人の連携

地域内の集落営農法人とJAが出資して集落営農法人の連合体であるアグリ南すおう(株)が平成29年3月に設立されました。肥料などの資材の共同購入や農業用機械の共同利用、ヘリ防除技術の習得、草刈作業を軽減する被覆植物の播種実施など、各集落営農法人の営農をサポートする活動が行われています。



ヘリ防除技術の習得状況



被覆植物の播種実施状況

ほ場整備で、地域を変える、地域が変わる

工事実施前



工事実施後（平成30年度施工）



（一部ほ場は、表土戻し前）

瀬戸換地区（田布施町）

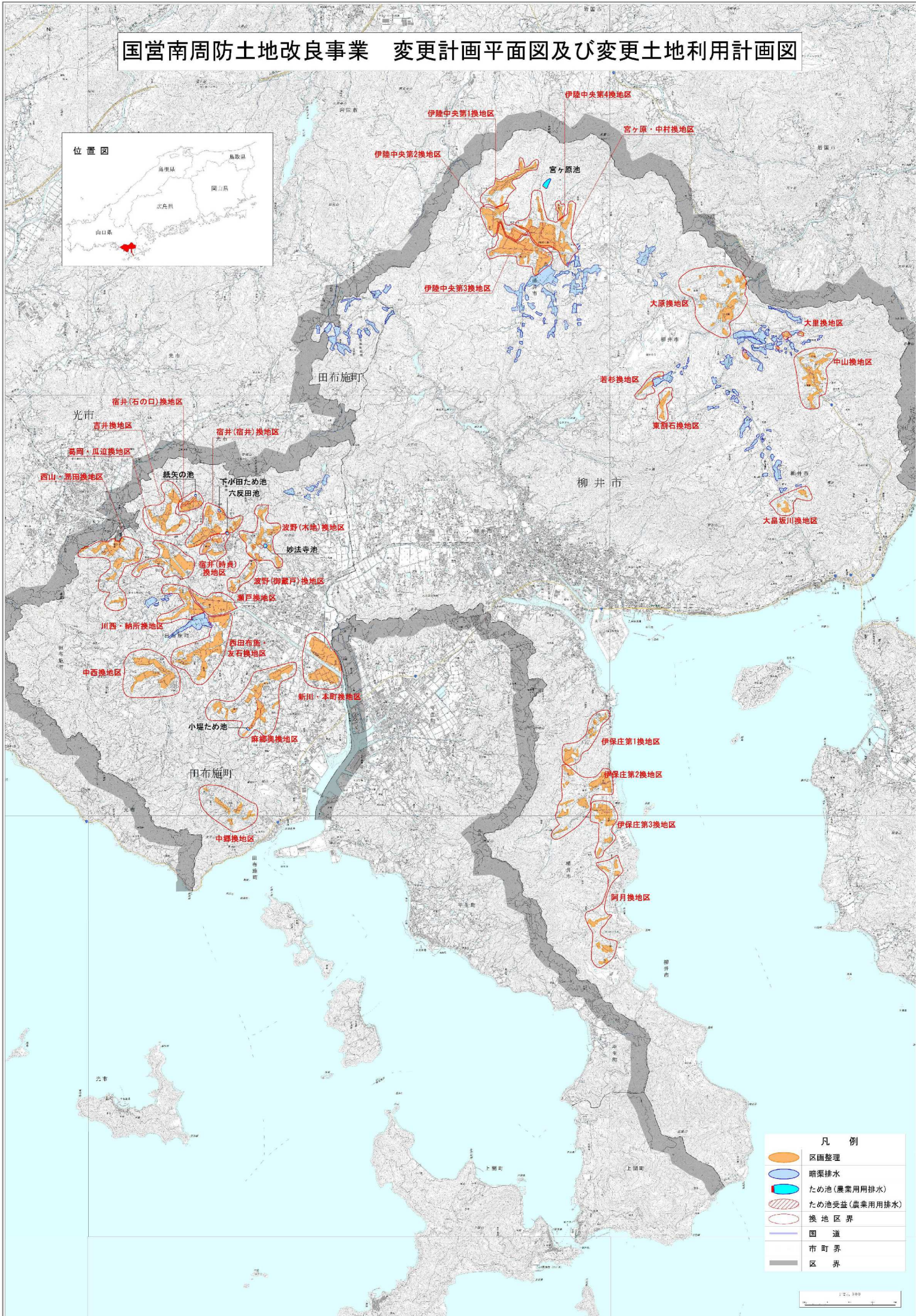


時貞換地区（田布施町）



東割石換地区（柳井市）

国営南周防土地改良事業 変更計画平面図及び変更土地利用計画図



凡 例	
	区画整理
	暗渠排水
	ため池(農業用排水)
	ため池受益(農業用排水)
	換地区界
	国道
	市町界
	区界